令和８年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

１	プログラム名	車いすメンテナンス体験　（車いすボランティア）
２	実施社会福祉協議会	鶴ヶ島市社会福祉協議会
３	協力団体	車いすボランティア
４	活動年月日	令和８年７月２４日・８月２８日
５	活動場所	鶴ヶ島市役所ボランティアルーム兼会議室
６	内容	車いすメンテナンスと走行体験

７　活動の様子

鶴ヶ島市社協で活動している車いす整備ボランティアさんと一緒に、体験プログラムを実施しました。

車いすのメンテナンス体験と利用する体験をすることで、福祉について考える機会となりました。

最後には質問コーナーを設け、ボランティアの皆さんと体験者が感想や疑問を話し合いました。お互いの体験や思いを共有し、コミュニケーションを深めることができました。



電話ボックスの利用を試します



初めてみた部品

参加者の感想

・車いすユーザーが感じる不便さや、利用しやすくするためのさまざまな工夫について知ることができました。

・施設内の設備や物の設置場所などには、健常者の目線で考えられているものが多いことにも気付きました。

また、車いすを利用すると、視覚障がい者のために設置された点字ブロックが走行の妨げになる場合があるなど、それぞれの立場によって「使いやすさ」が異なることも学びました。